

# 株主のみなさまへ

第66期 株主通信 2015年6月1日 ▶ 2016年5月31日



## CONTENTS

- P.1 ごあいさつ
- P.2 トップインタビュー
- P.2 連結財務ハイライト
- P.5 特集
- P.7 連結財務諸表
- P.9 トピックス
- P.10 会社情報／株式情報



## お客様の満足度を高めることで、 企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第66期（2015年6月1日から2016年5月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援・ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高・利益ともに過去最高を更新することができました。連結売上高につきましては、外資事業が前期比9.8%増、アミカ事業が前期比7.0%増と、両事業の増収が寄与し538億24百万円（前期比7.9%増）となりました。利益面につきましては、外資事業、アミカ事業における売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、全社的に経費抑制に取り組んだことにより、営業利益は8億16百万円（前期比44.3%増）、経常利益は8億31百万円（前期比49.5%増）と前期に対して大きく改善することができました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、外資事業で減損損失65百万円、アミカ事業で減損損失89百万円及び店舗閉鎖損失14百万円を計上したことなどにより、3億87百万円（前期比81.1%増）となりました。

当社グループを取り巻く市場環境は、依然として消費者の節約志向・低価格志向などにより、厳しい経営環境が継続することが予想されています。このような環境のなか、お客様を深く理解するとともに市場動向を把握し、最適な商品・サービスを提供していくことにより、お客様の満足度を高めていくことが重要であると考えております。幅広いお客様にご支持いただけるよう各事業の取り組みをより一層強化し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2016年8月

代表取締役社長 **金森 武**

## トップインタビュー



各事業の業績・取り組みについて説明をお願いします。

外商事業では、新規開拓に注力するとともに、前連結会計年度に獲得した新規得意先による増収や、既存得意先における取引拡大が寄与し、売上高は338億52百万円（前期比9.8%増）となりました。

当事業では、商品勉強会等を通じた専門的な商品知識の習得、商品提案会等を通じた顧客ニーズの把握と商品提案、コスト効率を勘案した物流体制の構築など、お客様の要望に適した商品・サービスを提供していくために、それぞれの取り組みに注力しています。これらの取り組みを通じ、既存得意先における納品エリア拡大や新規採用アイテムの獲得、新規得意先の獲得へとつながり、売上高は伸長しました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、販売管理費率が0.3ポイント低下したことにより、営業利益は2億44百万円（前期比198.7%増）と大

きく改善が進みました。引き続き、配送や庫内作業の見直しなどによる物流費の抑制や、業務効率の向上による人件費の抑制など、ローコストオペレーションを追求し、収益性の向上に注力していきます。

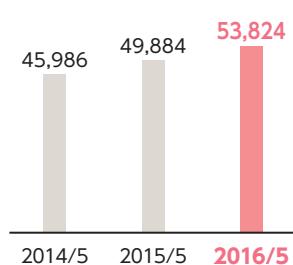
アマカ事業では、前連結会計年度に開業した新規店舗による増収に加え、既存店舗、ネットショップの増収が寄与し、売上高は181億13百万円（前期比7.0%増）となりました。新規出店については、2015年10月にアマカ高山店（岐阜県高山市）をオープンしました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、光熱費や消耗品費等の経費が減少し、販売管理費率が0.7ポイント低下したことにより、営業利益は15億39百万円（前期比18.7%増）となりました。

当連結会計年度末の店舗数は42店舗となり、各店舗の状況把握、改善が速やかに対応できる体制とするため、これまでの本部による一括管理ではなく、エリアごとに担当者を配置したエリア別管理を導入しています。各店舗にお

### 連結財務ハイライト

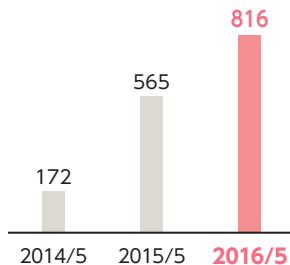
#### ■ 売上高 (百万円)

前期比 **7.9%増** ↑



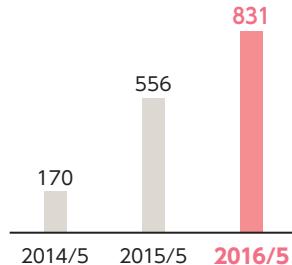
#### ■ 営業利益 (百万円)

前期比 **44.3%増** ↑



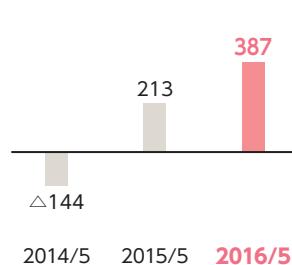
#### ■ 経常利益 (百万円)

前期比 **49.5%増** ↑



#### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

前期比 **81.1%増** ↑



いては、品揃えの充実化や陳列・売場の見直し、試食展示会等を通じたお客様への提案営業などに取り組み、来店客数やお買い上げ点数の増加を図っていきます。今後も、お客様に満足いただける取り組みを展開し、それぞれの地域で業務用食品スーパーNo.1をめざしていきます。

水産品事業では、商品ラインナップの強化を進めるとともに新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んできましたが、売上高は18億52百万円（前期比12.8%減）、営業損失については、たな卸資産評価損を1億10百万円計上したことなどから1億35百万円（前期は営業損失8百万円）となりました。当期の業績は厳しい結果となりましたが、新規得意先の開拓や大手水産会社をはじめとする優良得意先との取引拡大、外商事業やアマカ事業との連携による水産品提案の活発化など、翌期につながる営業活動に注力してきました。引き続き、営業活動を強化していくとともに、収益性の改善に向けた取り組みに注力していきます。

## Q 2017年5月期の見通しについて ご説明ください。

2017年5月期の業績につきましては、売上高581億円（前期比7.9%増）、営業利益8億90百万円（前期比9.1%増）、経常利益9億4百万円（前期比8.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億10百万円（前期比57.4%増）を計画しています。

外商事業では、前連結会計年度に獲得した新規得意先による増収に加え新規開拓に注力し売上の増加を図るとともに、利益面においては、継続して物流費の抑制など経費抑制に取り組み、一層の収益向上をめざします。アマカ事業では、新規出店を計画するとともに、既存店舗の活性化に取り組み、売上の増加をめざします。新規出店については、出店候補地に対する市場調査等の精度向上に努めていきます。水産品事業では、既存得意先との継続的な取引を着

実に進めていくとともに新規開拓に注力し売上の増加を図ります。また、収益改善が重要な課題であり、採算管理の徹底、経費抑制に努めていきます。



## 株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、安定配当の維持を基本としながら、今後の事業展開等を勘案して配当を実施することを基本方針としています。第66期の期末配当金は、1株当たり5円を予定していましたが、当期の業績および今後の経営環境等を総合的に勘案した結果、1株当たり6円といたしました。中間配当金とあわせると、年間配当金は1株当たり11円となりました。なお、次期配当は1株当たり中間配当金6円、期末配当金6円の合計12円を予定しています。

当社グループは、3つの事業を通じ、お客様の満足度を高めることで、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 2017年5月期の連結業績予想

売上高	58,100 百万円	(前期比)	7.9 % ↑
営業利益	890 百万円	(前期比)	9.1 % ↑
経常利益	904 百万円	(前期比)	8.7 % ↑
親会社株主に帰属する当期純利益	610 百万円	(前期比)	57.4 % ↑
1株当たり当期純利益	103 円 3 銭		

## セグメント別の概況

### ■ 外商事業

売上高

338億52百万円

(前期比9.8%UP▲)

商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力しています。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益改善を図っています。



62.9%

### ■ アミカ事業

売上高

181億13百万円

(前期比7.0%UP▲)

それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力しています。新規出店については、2015年10月に高山店（岐阜県高山市）を開業しました。



33.7%

### ■ 水産品事業

売上高

18億52百万円

(前期比12.8%DOWN▼)

外商事業及びアミカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、既存得意先への提案営業の強化や、新規得意先の開拓に努めています。

3.4%

特集

# アミカ 大垣店 店長おすすめの

プライベート  
ブランド商品を  
★  
Pick UP!  
★

## ★ 簡単クック骨なし秋さけ

凍ったまま調理しても、ふっくら柔らかくジューシー。魚の風味を残し、生臭さを省きました。骨なし加工されているので、幅広い料理に使用できます。(内容量:60g×5枚)



当社では、当社独自のブランドである「O!Marche (オーマルシェ)」、「プロの選択」、業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランドである「JFDA (ジェフダ)」を展開しています。プライベートブランド商品は、アミカ及びアミカネットショップでお買い求めいただけます。

24時間365日注文可能!

アミカネットショップ

検索

<http://www.amicashop.com>



## ★ 角切りポテトサラダ

角切りのばれいしょを使用した、いもの風味とゴロゴロとした存在感をしっかりと感じられるポテトサラダ。付け合わせとしてそのまま盛り付けもできます。(内容量:1kg)

## ★ ミルクスイーツ(ストロベリー風味)

冷たい牛乳でつくる、簡単&おいしいスイーツ。汎用性バツグンのシンプルなストロベリー風味でお好みのフルーツやジャムを添えるとオリジナルのデザートも作れます。(内容量:10)



## 店長からみなさまへ

業務用食品を豊富に取り揃えているアミカなら、あなたの欲しい商品がきっと見つかります! 一般のお客様も大歓迎!! 皆様のご来店をお待ちしております。

アミカ大垣店 店長 早野 順哉



ご家庭でも  
簡単に  
作れます!!

# おすすめ商品を使用したレシピがこちら!

## 秋さけとポテトサラダの アーモンド焼き



### 材料 (4人分)

- ★ 簡単クック骨なし秋さけ 5切れ
- 塩・こしょう 適宜
- ★ 角切りポテトサラダ 320g
- 玉ねぎ 45g
- 生クリーム 15ml
- 卵黄 1/2個分
- スライスアーモンド 12g
- ★ パルメザンチーズ100% 20g
- 無塩バター 10g
- ★ LENTAVITA EXオリーブオイル 10ml
- 付けあわせ用の野菜 4人分
- ★ フレンチドレッシング赤 30ml

### 作り方

- ① 秋さけを解凍し、軽く塩を振って15分置く。水気を拭い、塩・こしょうを振り、グリルやオーブンで焼く。途中でオリーブオイルを塗ってしっとり焼き上げる。
- ② 熱いうちに皮を取りのぞき、粗くほぐす。
- ③ ポテトサラダの1/4量をボールにとり、ポテトをつぶし、②とあえる。
- ④ 生クリーム、卵黄、薄くスライスした玉ねぎ、残りのポテトサラダを混ぜあわせる。
- ⑤ バター (分量外) を塗った天板に③をコロッケ状にする。④をのせてドーム状に成形する。
- ⑥ ⑤に溶かしバターを塗り、パルメザンチーズを振る。アーモンドを貼り付け、210℃のオーブンでアーモンドが香ばしくなるまで焼く。
- ⑦ 皿に⑥、付けあわせ用の野菜を盛り、フレンチドレッシングをかける。



パルメザンチーズ100%



LENTAVITA EXオリーブオイル



フレンチドレッシング赤

こんな商品も  
使っています

## ミルクスイーツの アイスパフェ



### 材料 (4人分)

- ★ ミルクスイーツ (ストロベリー風味) 200ml
- 牛乳 200ml
- 白桃缶 200g
- ★ フルーツソース (ストロベリー) 60g
- コーンフレーク 30g
- バニラアイスクリーム 120g
- ★ ミックスベリー 12粒
- ミント 適量
- デコレーション用のお菓子 4人分

### 作り方

- ① あらかじめグラスを冷やしておく。
- ② 常温のミルクスイーツをボールに入れ、冷えた牛乳を手早く混ぜる。
- ③ 白桃は1cm角に切る。
- ④ ①のグラスに②、白桃、フルーツソース、コーンフレークの順に入れる。もう一度同じ手順を繰り返し、最後に③を入れる。
- ⑤ 型どりのバニラアイスクリームをのせる。
- ⑥ ミックスベリー、ミント、デコレーション用のお菓子を添える。



フルーツソース (ストロベリー)



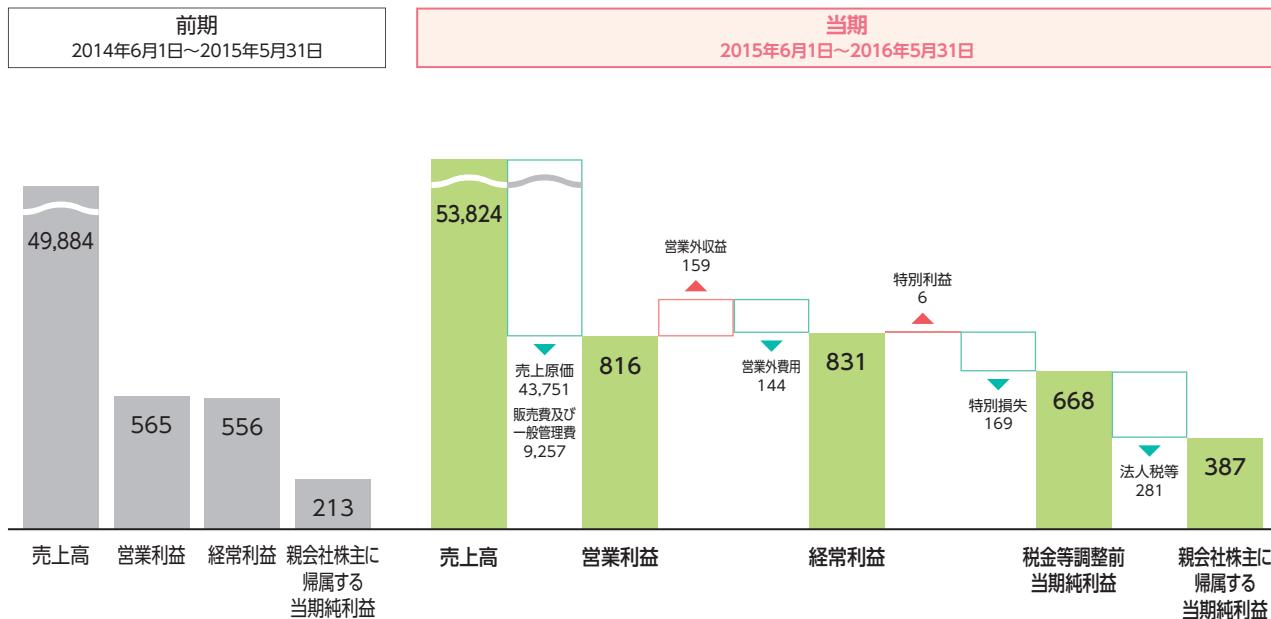
ミックスベリー

こんな商品も  
使っています

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書の概要

(百万円)



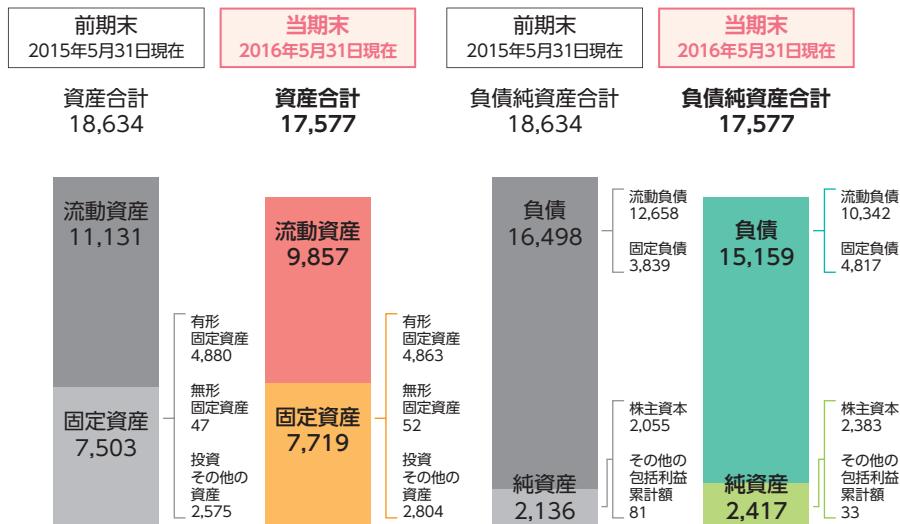
## POINT

### 売上・利益とも過去最高

売上高は、外商事業・アミカ事業の増収が寄与し538億24百万円(前期比7.9%増)となりました。営業利益は、売上総利益の増加に加え、全社的に経費抑制に取り組み販売管理費率が0.5ポイント低下したことにより8億16百万円(前期比44.3%増)、経常利益は8億31百万円(前期比49.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億87百万円(前期比81.1%増)となり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のすべてにおいて過去最高となりました。

## 連結貸借対照表の概要

(百万円)

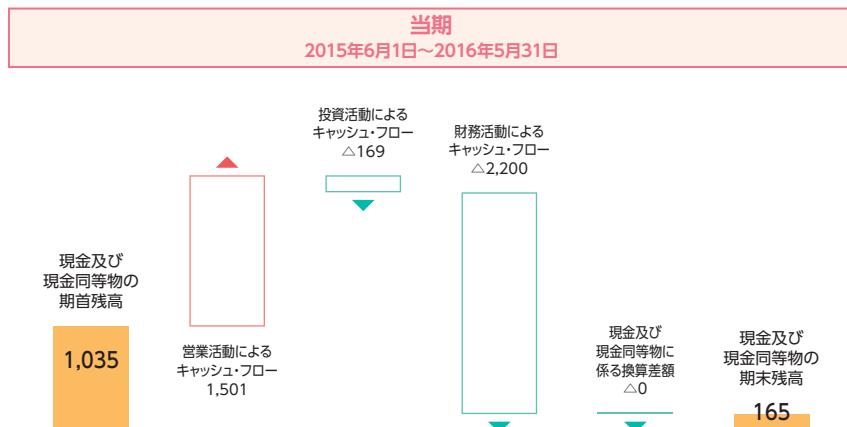


## POINT

バランスシートのスリム化を目的として、現金及び預金は10億99百万円、借入金は20億99百万円減少しました。この結果、資産合計は10億57百万円、負債合計は13億38百万円減少しました。純資産は、利益剰余金の増加などにより2億81百万円増加しました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



## POINT

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億1百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより1億69百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより22億円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は1億65百万円となりました。

## TOPICS 1

### ～社会貢献活動～ 太陽光発電装置設置



当社は、2016年2月、保有不動産の有効活用と環境負荷低減を目的として、太陽光発電装置を設置しました。近年、地球温暖化対策や限りある化石燃料を使い続けることによる将来的なエネルギー不足を解決するために、太陽光などの再生可能エネルギーの導入が推進されています。当社におきましても、太陽光発電事業を行うことにより、安心安全なエネルギーを供給し、企業として社会貢献していきたいと考えています。



## TOPICS 2

### アミカで新鮮な野菜を お買い求めいただけます

アミカの一部店舗において青果の取り扱いを開始しています。玉ねぎ、キャベツ、トマト、もやし、フルーツなど、新鮮な野菜や果物を取り揃えています。お買い物の際には青果コーナーにも是非お立ち寄りください。今後もお客様の満足度向上につながるサービスの充実に取り組んでいきます。

#### 青果 取扱店舗一覧

【愛知県】 港当知店、緑浦里店、中村井深店

【岐阜県】 岐阜店

【滋賀県】 彦根店、瀬田店、長浜店、滋賀守山店



# 会社情報 / 株式情報

## 会社概要

2016年5月31日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年(昭和23年)6月
設立	1950年(昭和25年)12月
資本金	4億7,503万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	887名(内パート・アルバイト398名)
子会社	株式会社マリンデリカ

## 株式の状況

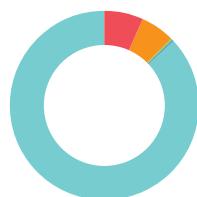
発行可能株式総数	15,360,000株
発行済株式の総数	6,021,600株(自己株式を含む)
株主数	8,784名(自己株式を含む)

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	1,300,000	21.95
金森 久	594,000	10.03
大光従業員持株会	431,700	7.29
金森 智	360,000	6.07
株式会社大垣共立銀行	290,000	4.89
倭 雅美	146,000	2.46
株式会社トーカン	120,000	2.02
株式会社十六銀行	80,000	1.35
大光取引先持株会	77,100	1.30
川崎 光義	70,000	1.18

(注) 1. 当社は、自己株式100,004株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



	株式数(千株)	株主数(名)
金融機関	410	4
その他国内法人	349	73
外国人	4	14
証券会社	4	10
個人・その他	5,252	8,683

(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

## 役員

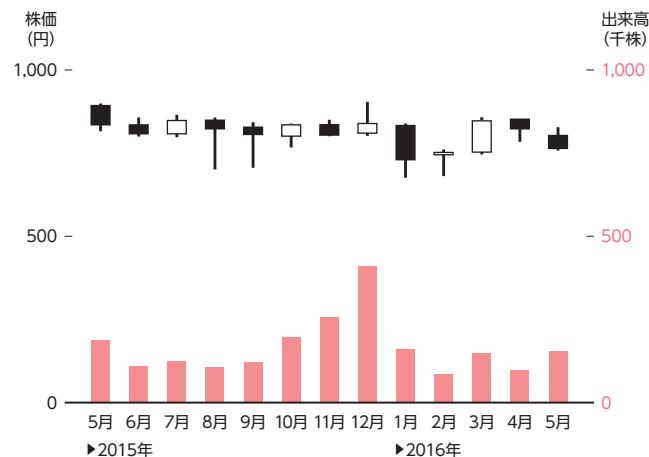
2016年8月24日現在

代表取締役社長	金森 武	取締役	藤澤 浩
専務取締役	倭 雅美	取締役	高橋 章夫
専務取締役	金森 久	取締役	小林 秀幸
常務取締役	秋山 大介	取締役	今井 敦司*
常務取締役	伊藤 光	社外取締役	吉村 有人*
		社外取締役	前川 弘美*

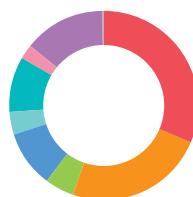
(注) 2015年8月19日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

2016年5月31日現在

## 株価チャート



## 所有株式数別株式分布状況



	株式数(千株)	株主数(名)
50万株以上	1,894	2
10万株以上50万株未満	1,447	6
5万株以上10万株未満	287	4
1万株以上5万株未満	590	31
5千株以上1万株未満	239	37
1千株以上5千株未満	560	417
5百株以上1千株未満	154	284
1百株以上5百株未満	846	7,847
1百株未満	0.7	156

## 株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日  
期末配当金の基準日 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

### 【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

### 【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



TOPページ

IR情報を  
クリック

IR情報ページ



<http://www.oomitsu.com>

## 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態でご来店された株主様には、QUOカードを倍額の「アマカ商品券」に交換させていただきます。

### 1 対象株主様

毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中旬に発送予定)

### 2 優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分またはアマカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分またはアマカ商品券2,000円分
1,000株以上	▶ QUOカード2,000円分またはアマカ商品券4,000円分